

いくつになっても人間関係は難しいもので、特に初対面の子どもたちと人間関係を築くことには、いつも苦心している。

彼岸明けの月曜日、いわて

# 私見創見 Thursday

銀河鉄道に乗って一戸町に向かった。車窓から名久井岳を眺めながら、10年前の話だが、初めての出前塾を思い出していた。

その年の夏休み、境港から小学2年男子。1クラス8人

フェリーで3時間、日本海に浮かぶ風光明媚な島根県隠岐郡海士町を訪ねた。町には二つ小学校があり、中学校になると一つに。そして、地元で唯一の県立隠岐島前高は、近隣町村からの進学者を入れても1学年30人を割り込み、廃校の危機に直面していた。

教育委員会は、町営塾を核にして大学進学率を高め、人口流出を防ぎたいと私を招いた。私は国立大への進学者が途絶えると、学校の先生に「地元の者」がいなくなることを課題として指摘した。片道2日間という遠路を往復したがいがあり、子どもたちと保護者からは熱い感想が寄せられ、町営塾「隠岐国学習センター」がスタートした。

## 出前塾と公営塾

# なぜ学ばねばならないのか？

の学校で、勉強を始めて1年余りでなぜ落ちこぼれるのかを知って驚いた。顔立ちのりしいその子は「漢字が面倒くさい」と言いつつ算数ばかり取り組もうとしていた。

私は鉛筆の持ち方から教えたりと、電車は折爪岳を左手に眺めながら一戸駅に着いた。奥中山峠を臨む駅に降りると、外気温は6度と表示されていたが、体感ではさらに2、3度は低い。

町が運営する「公営塾」の会場に、女子4人、男子3人が待っていた。初対面の子どもたちに「こんにちは」と声を掛けると、はにかみながら「こんにちは」と返してくれた。

私は教室の前に立ち、全員を見渡しながら、姿勢の良い子を見つけては、間髪入れず「鉛筆の持ち方がいいね！」「左手の置き方がいいね！」「誉めた。子どもたちの背筋がピンと伸びていく。

「では、地球上の犬という生き物に最初に犬と名付けたのは誰か？」と考えさせた。そして「犬田さんかな？」と続けた。しばらくして、野球部男子が「ドックさんじゃない？」と言った。教室中、笑いに包まれた。

畑山 篤 志学塾塾長

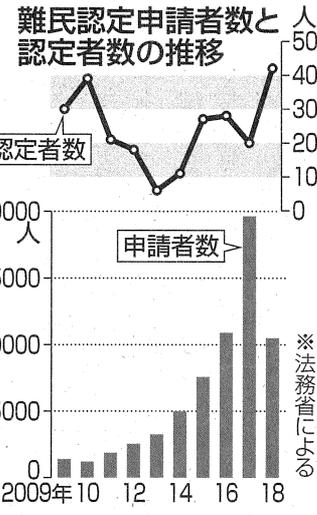


はたやま・あつし 1960年、八戸市生まれ。明治学院大卒。志学塾を運営しながら、全国各地で講演。「勉強部活」を提唱、放課後学習支援などに関与する。全国学習塾協会理事。

# 難民申請者47%減

## 18年1万493人、認定は42人

法務省は27日、2018年の難民認定申請者数は1万493人で、前年に比べて9136人(約47%)減ったと発表した。減少は8年ぶり。一方、難民と認定されたのは前年の20人から42人に増えた。



難民と認定しなかったが、人道的な配慮でパキスタン人やシリア人など計40人の在留を認めた。法務省の担当者は「制度の厳格化で誤用的な申請が減り、処理数が伸びたこと」が、難民認定増加の一因と考えられる」と話した。日本の難民認定が少なくないとして国際社会からは批判も出ている。

## 外国人1万6000人退去強制

### 18年、不法就労6割超

法務省は27日、2018年1万86人で6割以上を占めるに不法残留や資格外活動など、入管難民法違反で退去強制手続を取った外国人は1万6269人で、前年比2583人増えた。中国4185人、タイ2101人、フィリピン1692人、インドネシア850人と続き、この5カ国で全体の8割以上となった。最終の在留資格は短期滞在の5304人が最多で、技能実習が3461人、特定活動が2566人、留学が2294人。

不法就労の移働場所は、鳥取と高知両県以外の45都道府県。茨城県の1975人が最も多く、関東地区(1都6県)で計7224人、中部地区9県で計1421人、7は今年3月末までに作成する予定。残り10は、地域防災計画の修正に合わせて策定する」などとした。地区単位の計画は、自主

# 津波避難計画97%作成

市町村寸 也又単立よ氏周

津波の遡上で被害が想定される39都道府県の市区町村が対象。埼玉、長野など8県は該当地域がなかった。